

# HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

広島交響楽団 第353回定期演奏会  
The 353rd Subscription Concert



指揮:アラン・ブリバエフ  
Alan Buribayev



チェロ:マーティン・スタンツェライト\*  
Martin Stanzeleit



ヴァイオリン:安保 恵麻  
Ema Ambo

©井村 重人

2015 **10.30** 金  
18:45開演(17:45開場)  
Fri Oct 30 2015 Start 18:45(Open 17:45)

広島文化学園HBGホール  
〒730-8787 広島市中区加古町3-3  
Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

## 夢と希望

ベートーヴェン:交響曲第2番ニ長調Op.36  
Beethoven: Symphony No.2 in D major Op.36


R.シュトラウス:交響詩「ドン・キホーテ」Op.35\*  
R.Strauss: Don Quixote Op.35

チケット(税込/全席指定):S席5,200円・A席4,700円・B席4,200円・学生券1,500円(学生券は広響事務局のみで取り扱い)

エディオン広島本店・福屋八丁堀本店プレイガイド・福屋広島駅前店チケットサロン・アルパーク天満屋チケットサロン・広島アーツ楽器  
ローソンチケット(Lコード:66403)・チケットぴあ(Pコード:251-976)・中国新聞社読者広報部・中国新聞販売所(取り寄せ)・広響事務局にて販売  
チケット発売日:一般プレイガイド 2015年8月30日(日) / 広響事務局 2015年8月31日(月)

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。 ※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。  
※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

主催 / 公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助成 /  文化庁文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業)

後援 / 広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、  
テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、広島リビング新聞社



広響公式ホームページ ▲



# 夢と希望

ベートーヴェンが作曲家として致命的といえる聴覚の異常により、有名な「ハイリゲンシュタットの遺書」を書くまで…その絶望の淵から見事に復活し書き上げられたのが「交響曲第2番」。  
ロシナンテに股がり、サンチョ・パンサを従え、伝説の騎士となって風車に戦いを挑む、人々に勇気と感動を与える「ドン・キホーテ」の夢物語をオーケストラの音楽で鮮やかに描きあげたR.シュトラウスの傑作。俊英アラン・ブリバエフの指揮のもと、広響が誇る2人の首席奏者とともに、皆様に「夢と希望」を届けます。



〈指揮〉  
アラン・ブリバエフ  
Alan Buribayev

2010年よりダブリンのRTE国立交響楽団の首席指揮者を務める。これまでマイニンゲン劇場、アスタナ交響楽団、ノールショピング交響楽団の主要ポストを歴任。

欧州での活躍も目覚しく、これまでにロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、サンクトペテルブルク・フィルハーモニー交響楽団、ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、バーミンガム市交響楽団など主要なオーケストラと共演を重ねている。

日本では確固たる名声を確立しており、九州交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、日本センチュリー交響楽団の客演を重ねる他、東京都交響楽団、東京交響楽団、札幌交響楽団、広島交響楽団などにも招かれている。2014年4月より日本センチュリー交響楽団首席客演指揮者に就任。

1979年、カザフスタンの音楽一家に生まれる。1999年マタチチ国際指揮者コンクール第1位、2001年マルコ指揮者コンクール特別賞、ペドロティ国際指揮者コンクール第1位を受賞。



〈チェロ〉  
マーティン・スタンツェライト  
Martin Stanzeleit

ドイツ出身。5歳よりチェロを始める。1990年、エッセン国立音楽大学に入学。1995年、同大学を首席で卒業。folkbank・コンクールに入賞。1995年よりドイツ室内楽アカデミー管弦楽団の一員としてコンサートツアーに参加。デンマーク王立歌劇場に入団。その後、コペンハーゲン・フィルハーモニー管弦楽団にチェロ首席奏者として招聘される。1998年夏より、広島交響楽団の首席チェロ奏者に就任。チェロをヤンチャン・チョウ、ジークフリート・バルム、ハインリヒ・シフ、ヤーノシュ・シュタルケル各氏に師事。指揮法を秋山和慶、ラインハート・カウフマン、藤崎凡の各氏に師事。広島交響楽団首席チェロ奏者を務める傍らオンリーチェンバーミュージック、クレイジークラシックス主宰など活動の幅を広げており、さらなる活躍が期待されている。

2011年、地域の文化活動の発展に功績があったとして、財団法人けんしん育英文化振興財団より、「県民文化奨励賞」を受賞した。

2013年より、日本初チェロ・ロックバンド「カンターナ」を組み、デビューCD「Cellmate」をリリース。使用楽器は1691年製フランチェスコ・ルジェーリ。



〈ヴィオラ〉  
安部 恵麻  
Ema Ambo

4歳よりヴァイオリンを始める。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校に入学と同時にヴィオラに転向。2001年、東京藝術大学音楽学部を卒業。卒業時に同声会賞を受賞。在学中にモーニングコンサートにて芸大オーケストラとウォルトンのコンチェルトを故・佐藤功太郎氏指揮で共演。'97年、東京文化会館新進音楽家デビューコンサートに出演。

'99年、PMFに合格。PMFでは、首席奏者も務める。その他、宮崎国際音楽祭、アフィニス夏の音楽祭、オホーツク音楽祭in紋別、イタリヤ・チェルボ国際音楽祭などの音楽祭にも参加。

NHKハイビジョン音楽館などのテレビ、ラジオ番組にも多数出演。その他、スタジオミュージシャンとしても、多数の楽曲に携わっている。また'09年8月2日、マツダスタジアムで始球式を務めた。

'01年～'05年3月まで東京藝術大学管弦楽研究部非常勤講師を務める。

'05年4月に広島交響楽団首席ヴィオラ奏者に就任し、現在に至る。'07年、'09年、'13年には、同団定期演奏会にて音楽監督の秋山和慶氏との共演でソリストも務めている。

これまで、ヴァイオリンを故・鷺見康郎、津田順子の各氏に、ヴィオラを菅沼準二、川崎和憲、小野富士、市坪俊彦、ジャン・シュレムの各氏に、室内楽を北本秀樹、岡山潔、苅田雅治、田中千香士、小林道夫、生沼晴嗣の各氏に師事。

次回定期演奏会 2015 11.10 火 第354回定期演奏会 広島文化学園HBGホール 18:45開演(17:45開場)

## ウィーンフィル・コンサートマスター、シュトイデ〈運命〉の再会

モーツァルト 歌劇「魔笛」K.620～序曲

メンデルスゾーン ヴァイオリン協奏曲ホ短調Op.64

ベートーヴェン 交響曲第5番ハ短調Op.67「運命」

通常アンサンブルの演奏は、四重奏や五重奏…多くても10数名でしょうか。しかし今回はフルオーケストラでのアンサンブル。奏者はより感覚を研ぎ澄まし、これまで培ってきた感性の全てを捧げ、自ら音楽を奏めます。そして「運命」の終楽章では、60名をこえるアンサンブルが一気に花開きます。オーケストラをリードするのは、世界最高峰のウィーンフィル・コンサートマスター、フォルクハルト・シュトイデ。創立50周年定期以来2年ぶりとなる〈運命〉の再会です。



〈コンサートマスター〉  
フォルクハルト・シュトイデ

あなただけの  
マイシート

後期定期会員募集中!

全3公演

S席/12,500円 A席/11,500円 B席/10,500円  
お申し込みは広響事務局までお電話ください。(9月16日から2016年1月22日まで受付)